

もてもて通信

2020 オーディナーション号

執事按手式

6月20日（土）、10時30分から、徳島インマヌエル教会にて、宮田裕三聖職候補生の執事按手式が行われました。

神戸から小林尚明主教、式典長の林和広司祭、中村豊主教が来てくださり、秋山義孝司祭、徳島カトリック教会のスティーブ神父も参列くださいました。芳我秀一司祭が説教、芳我司祭と三木あさ子さんが推薦者、奏楽は宮田美樹、ライブ配信オペレーションは宮田丞志でした。参列者は徳島の4教会の教会委員さんのみに限定され、ソーシャルディスタンスを保ち、皆さんマスク着用で式は行われました。

当初、3月21日に神戸の聖ミカエル大聖堂で行われる予定でした。それが、コロナ禍で延期となり、目処が立たずにいました。それでも、徳島の4教会と1会衆に対して聖職が一人だけでは困るということで、嘆願書が出され、それが受理された結果の按手式でした。ただ、日本聖公会の執事に按手されるわけですから、クローズの状態で行われるのは良くない、ということで、ライブ配信されることになりました。

しかしながら、それによって、とても家庭的な温かい式となりました。聖歌やチャントを歌うこともなく、全員でも30人満たない規模で、すべてがイレギュラーでしたが、それが、宮田裕三らしいと感じました。

神戸教区のホームページから、ご覧になることができます。

<https://www.youtube.com/channel/UC1BwIZBIK8ZS-Ynsn4UOKg>

日本聖公会 神戸教区



皆がマスクをしている按手式の写真は、日本聖公会では初かもしれません。

礼拝の様子です。ほとんどの写真は、インマヌエル教会の秋山恵子さんからいただきました。



旧約聖書の朗読は、インマヌエル教会の教会委員、林義子さん。使徒書の朗読は、同じく委員の脇田慎也さんでした。



芳我先生と三木さんに推薦され、誓約をし、試問に応答した後、執事のストールをつけていただきました。神戸教区の出身教会である、神戸聖ヨハネ教会からいただいたものです。



嘆願の後、主教が手を置き、(前後にアルコール消毒されていました)晴れて、宮田せんせえは執事となりました。初「派遣の唱和」は、残念ながらチャントではありませんでしたが、すでに10年くらい執事であったかのような安定感がありました。(初々しさが無かった、とも言います。☺)



ライブ配信の操作は、次男が担当してくれました。冷静沈着に、その場のアドリブにも対応していて、頼もしく感じました。



妻(私)は奏楽担当でした。礼拝のオルガニスト1年生で按手式の奏楽など、こんな状況でなければ、ありえません！



一瞬だけ、マスクを外して写真を撮りました。



さて、これで、「候補生」から、「聖職」となりました。

つけているストールは、敬愛する東京教区の亡き藤井慶一司祭の形見のストールです。小さな奇跡物語の末、終身貸与していただきました。その他、小さなお友達からお花をいただいたり、諸先輩方からメッセージをいただいたり、みなさまに支えられているのだと実感しました。特に、按手式前、あるべき黙想の時間が取れないでいたところ、徳島カトリック教会のスティーブ神父に助けをいただきました。しっかり豊かな時間がとれたようです。教派を超えて支え合える仲間が与えられたことに、心から感謝しています。

みやた せんせえ より

コロナ禍の中で聖職按手式が延期になり、しばらくは聖職候補生として信徒側の立ち位置で過ごせるかと考えていた矢先に、徳島での聖職按手式が決まりました。

参列者の制限を行い、細心の注意を払い、新型コロナウイルス感染防止対策を行う中での按手式、参列できない方々へはインターネットでのライブ配信。すべてが初めてのことで新しい按手式の形を模索しながら行われました。

教区オルガニストの奉仕も叶わないために、急遽妻がオルガニストを務めることに、オルガニスト訓練をちゃんと受けているわけではないので、とても大変だったろうと思います。

インターネット配信は私が準備しましたが、当日は私が操作できないので、息子に手伝ってもらいました。家族総出の按手式です。いままでの按手式では、神戸聖ミカエル大聖堂で行われていたために、按手の瞬間は何が行われているの会衆席からはあまり良くわからない状況でもありました。今回はカメラがすぐそばにあり、按手の瞬間もしっかり見ることが出来たので、インターネットで参加された方々からは「しっかり見ることが出来たのでとても良かったです。」という声が多く届きました。また遠くに住んでいるために按手式に出向くことができない方々も按手式に参加できたことで、想像以上に多くの方々から祝福の声が届きました。コロナ禍に於いて新しい形での按手式が滞りなく行えたことに心から感謝いたします。

神戸教区の神学塾では、Youtube でミニ神学講座を配信しています。

私にも当番が回ってきまして「私たちの教会の暦」というテーマで一年の教会の暦について妻のオルガン奏楽を用いながら簡単に説明しています。7月15日以降、どなたでも見られますのでどうぞご覧下さい。

神戸教区 神学塾



インターネットはつながりますか？

徳島聖テモテ教会ホームページ

<https://www.seitemote-tokushima.org/>

ビデオ会議システム礼拝用

<https://whereby.com/seitemote-tokushima-service>

礼拝ライブ配信 Youtube

<https://www.youtube.com/channel/UCaazKg10eY80LY8Yle743Xw>

日本聖公会神戸教区ホームページ

<http://www.nskk-kobe.org/>

今回、たくさんの方から、お祝いをいただいたり、「おめでとう」と言っていたり、心から感謝しています。皆さんが喜んで下さることは、純粋に嬉しく、ありがたいと思います。でも、「執事按手」が「おめでたいこと」とは、実は思っていないのです。執事、聖職になることは、自分で獲得するタイトルとは違うと思っています。首輪のような「ラウンドカラー」が象徴するように、神様の仕事をするために「捕まった」感じがしています。これからも、ますます、神と人ともに仕えていくことでしょう。

執事になったことで、司祭が祝福したパンとぶどう酒を運ぶことができるようになりました。コロナ禍で、なかなか訪問することが難しかったりもするのですが、必要があれば、どうぞご相談下さい。

マルセラ宮田美樹

2020/07/10 発行